

北九州市環境基本計画 進捗報告について (令和4年度実績)

【報告事項】

政策目標1 市民環境力の更なる発展と
すべての市民に支えられた「北九州環境ブランド」の確立

政策目標4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと
環境・経済・社会の統合的向上

【各分野別計画による報告】

政策目標2 2050年の超低炭素社会とその先にある脱炭素社会の実現

政策目標3 世界をリードする循環システムの構築

令和5年11月14日
環境局

1

1 総合評価

○政策目標1及び4について、北九州市行政評価を活用して、主要事業を

- ・大変順調 (成果指標達成率 120%以上)
- ・順調 (" 60%以上~120%未満)
- ・やや遅れ (" 40%以上~60%未満)
- ・遅れ (" 40%未満)

の4段階で評価。

○評価の結果、「大変順調」は11.6%、「順調」は86.0%、「やや遅れ」が3.0%。

政策目標	事業数	大変順調	順調	やや遅れ
1 市民環境力の更なる発展と すべての市民に支えられた 「北九州環境ブランド」の確立	36	3 (8.3%)	32 (88.9%)	1 (2.8%)
4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと 環境・経済・社会の統合的向上	20	5 (25.0%)	15 (75.0%)	0 (0.0%)
合 計	56	8 (14.3%)	47 (83.9%)	1 (1.8%)

※やや遅れは「長野緑地を利用した農業体験教室」(建設局)で、コロナ禍後も参加者数(985人)が目標の半分程度にとどまったもの。

2

政策目標1

市民環境力の更なる発展とすべての市民に支えられた「北九州環境ブランド」の確立

○タカミヤ環境ミュージアムの管理運営

本市の環境学習・環境情報・環境活動の総合拠点であるタカミヤ環境ミュージアムにおいて、公害克服の歴史や身近なエコライフ、地球環境問題などを分かりやすく紹介。

令和4年度は、地球温暖化やカーボンニュートラルをテーマに、一部展示をリニューアル。

利用者は、コロナ後回復傾向にあり、目標130,000人に対し約75,000人まで回復。

○北九州エコライフステージの開催

市民団体や事業者などで構成する実行委員会を中心にして、エコライフの浸透を目指し、様々な環境活動の実践者の発表の場であるエコライフステージの他、通年で様々な環境活動を実施。

<エコライフステージ2022>

- ・開催日 令和4年11月19日(土)～20日(日)
- ・会 場 勝山公園大芝生広場
- ・テ マ みんなで一緒につくろうよ。
脱炭素社会・私たちの北九州。



<地域の環境活動支援事業>

- ・通年事業（まち美化、環境学習、企業の環境イベント等）
- ・会 場 市内一円



<参加者数>

- ・エコライフステージ、地域の環境活動で約90万9千人

3

政策目標1

市民環境力の更なる発展とすべての市民に支えられた「北九州環境ブランド」の確立

○北九州市環境首都検定の実施

環境学習の機会を増やし、環境意識のレベルアップや環境に関心を持つ市民の裾野を広げることなどを目的に、平成20年度から「北九州市環境首都検定」を実施。

令和3年度から、ジュニア編、中高生編、一般編、上級編の全区分でWEB受検を開始。

令和4年度は、目標5,500人に対し5,751名が受検、2,533名が合格。

- ・開催日 令和4年12月11日(日)10:00～11:00

- ・会 場 西日本総合展示場、市民センター(志井、島郷)、環境ミュージアム

- ・受検者数等 受検者数 5,751名 合格者 2,533名

【内訳】	ジュニア編	3,537名	1,838名
------	-------	--------	--------

中高生編	1,303名	192名
------	--------	------

一般編	830名	468名
-----	------	------

上級編	81名	35名
-----	-----	-----



4

政策目標1

市民環境力の更なる発展とすべての市民に支えられた「北九州環境ブランド」の確立

○アジアの環境人材育成拠点形成事業

アジア地域の国・都市が自らの力で環境改善の取組を進めることができるよう、JICAや関係機関と連携し、国際環境研修を実施。

令和4年度は、目標460人に対し321人に研修実施。

○Horasisアジアミーティングの開催

スイスのチューリッヒに本拠を置く世界的なシンクタンクであるHorasisが開催するHorasisアジアミーティングを開催。

- ・開催日 令和4年11月20日(日)～22日(火)
- ・会 場 北九州国際会議場他
- ・テーマ アジアにおける地域間協力、効果的な投資、持続可能な成長などアジアの将来像
- ・参加者 企業経営者や投資家など、23か国・地域から201名



5

政策目標4

将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上

○大気・水・土壤環境等の保全

環境法令に基づき、大気汚染や水質汚濁、騒音、振動などの監視測定を実施。

○工場・事業場監視事業

市内の工場・事業場に対し、環境法令に基づき、立入検査及び排ガス・排水中の規制項目に関する測定を実施。

市民からの公害関係の苦情・要望を受け、発生源に対する指導を実施。

令和4年度の公害に関する苦情・要望件数は222件であり、目標とする300件以下を下回って推移。

○橋梁・トンネルの長寿命化

市内の橋梁、トンネルの老朽化に対し予防保全の観点から計画的に長寿命化を実施。

6

北九州市環境基本計画 進捗報告
(令和4年度実績)

北九州市環境局

北九州市環境基本計画進捗評価(令和4年度実績)

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

No.	SDGsゴール番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度 決算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	R4年度 決算額 (千円)	R4年度 事業評価	評価の理由	
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	中期目標						
1	⑦ ⑪ ⑫ ⑬ ⑯	地球温暖化対策推進事業	グリーン成長推進課	令和3年8月に改定した「北九州市地球温暖化対策実行計画」に掲げた目標の着実な達成に向け、市民・事業者・行政がこれまで以上に計画的かつ効果的に取組を推進する必要があるため、各種調査及び啓発事業の強化等を行う。	温室効果ガス排出量の削減（万t）	目標 温室効果ガス排出量1,859万t (2013年度)	実績 —	—	单年度目標設定なし	2030年度温室効果ガス排出量2013年度比47%減	9,851	7,846	4,038	順調	温室効果ガス排出量については、毎年減少傾向を維持している。 また、出前講演の参加者数（累計）が目標（5,250人）を達成するなど、市民に対し、年間を通じた啓発事業を実施した。 以上を総合して、「順調」と判断。
2	⑦ ⑪ ⑫ ⑬ ⑯	「脱炭素ライフスタイル」転換推進事業	グリーン成長推進課	令和3年8月に改定した「北九州市地球温暖化対策実行計画」に基づき、脱炭素社会の実現に向けて市民・企業向けの情報プラットフォームを整備し、「脱炭素社会」のイメージと方法・効果の共有を図るとともに、取組事例や効果を可視化し、家庭・企業の脱炭素型ライフスタイルへの転換を進めるもの。	温室効果ガス排出量の削減（万t）	目標 温室効果ガス排出量1,859万t (2013年度)	実績 —	—	单年度目標設定なし	2030年度温室効果ガス排出量2013年度比47%減	6,612	3,500	532	順調	温室効果ガス排出量については、毎年減少傾向を維持している。 また、ポータルサイトを通じて情報発信を強化した結果、アクセス数（累計）が目標（15,000件）を達成した。 以上を総合して、「順調」と判断。
3	⑩	広げよう食品ロス・生ごみ削減の環づくり事業	循環社会推進課	食品ロス削減の取組「残しま宣言」運動の普及・啓発や、生ごみリサイクル講座等の実施によって、生ごみの減量化・資源化を推進する。	市民一人一日あたりの家庭ごみ量	目標 468g (R1年度)	実績 462 g	452 g	单年度目標設定なし	440g以下 (R7年度)	7,047	7,800	6,354	順調	食品ロス削減の取組「残しま宣言」運動を継続して実施し、食品ロス削減の取組実施率は、中期目標の概ね8割程度達成しており、市民の環境意識向上や、生ごみの資源化・減量化の促進に貢献していると考えられることから、「順調」と判断。

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立														
No.	SDGsゴール番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度 中期目標	R4年度		R4年度 事業評価	評価の理由
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	決算額 (千円)		予算額 (千円)	決算額 (千円)		
4	⑫	3R活動推進事業	循環社会推進課	事業所に対する一般廃棄物の減量化等の推進及び3R活動を行う団体の表彰等により、3R活動の推進を図る。	一般廃棄物のリサイクル率 市民アンケート調査における3R活動の実施率	28.0% (R1年度) 86.9% (H28年度)	目標 実績 達成率	単年度目標設定なし 27.9 % —	単年度目標設定なし 26.6 % —	30%以上 (R7年度) 86.9% (毎年度)	1,188 609	1,111	順調	事業所へのごみ減量化に関する講習会の実施や、ごみ分別・減量化意識を高める取組を行った。 3R活動実施率は、令和3年度に比べ上昇しており、3R意識の向上が進んでいると考えられるため、「順調」と判断。
						目標 実績 達成率	86.9 % 85.7 % 98.6 %	86.9 % 87.6 % 100.8 %						
5	⑫	古紙・古着リサイクル推進事業	循環社会推進課	一般廃棄物の減量化・資源化促進のため、古紙・古着回収奨励金の交付等を通じ、市民団体による集団資源（古紙・古着）回収活動を支援する。	市民1人あたりの年間古紙回収量 古紙回収に取り組むまちづくり協議会数 一般廃棄物のリサイクル率	50.1kg (H21年度) 132団体 (H26年度) 28.0% (R1年度)	目標 実績 達成率	単年度目標設定なし 30.4 kg —	第2期循環社会計画に準拠 137 団体 137 团体 100.0 %	全137団体の参加 (毎年度) 30%以上 (R7年度)	147,183 208,944 135,349	順調	近年、古紙・古着の集団資源回収量は若干減少気味であるが、古紙については紙の使用量の減少も影響していると考えられる。 まちづくり協議会の参加率は100%を維持しており、地域の活動は継続されていることから、「順調」と判断。	
						目標 実績 達成率	137 团体 137 团体 100.0 %	137 团体 137 团体 100.0 %						
						目標 実績 達成率	単年度目標設定なし 27.9 % —	単年度目標設定なし 26.6 % —						

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立															
No.	SDGsゴール番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事務所管轄課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度 中期目標	R4年度		R4年度 事業評価	評価の理由	
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	決算額 (千円)		予算額 (千円)	決算額 (千円)			
6	(⑨) (⑩) (⑪) (⑫) (⑬) (⑭) (⑮)	北九州市プラスチックスマート推進事業	循環社会推進課	国の動向と歩調を合わせながら、これまでの取組に加え、更なるプラスチックごみの資源循環に向けた施策を推進する。	プラスチック製容器包装の分別協力率	44.4% (R1年度)	目標	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	60%以上 (R12年度)	30,332	38,000	23,513	順調	令和4年4月施行のプラスチック資源化促進法への対応に向けて、2度目のプラスチック一括回収の実証事業を実施し、市内全域で事業開始に向けて、方針決定などに取り組んだ。 また、プラスチックごみ対策専用ウェブサイトのレイアウト改善や、講演・イベントでの市民啓発などを強化した。 以上を総合して、「順調」と判断。
							実績	45.6 %	44.5 %						
							達成率	—	—						
					市民1人一日あたりの家庭ごみ量	468g (R1年度)	目標	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	440g以下 (R7年度)	8,238	9,405	9,715	順調	市民1人一日あたりの家庭ごみ量は集計中であるが、減少傾向である。 また、3R活動の実施率も高い水準を維持しているなど、環境意識の醸成及び地域コミュニティの活性化につながっていると考えられる。 以上を総合して、「順調」と判断。
							実績	452 g	452 g						
							達成率	—	—						
7	⑯ ⑰	地域特性型（メニュー選択方式）市民環境活動推進事業	循環社会推進課	地域団体等が自主的に活動する事業（剪定枝リサイクル等）を支援することにより、地域における自主的な環境活動の拡大と地域コミュニティ活動の活性化を図る。	市民1人一日あたりの家庭ごみ量	468g (R1年度)	目標	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	440g以下 (R7年度)	8,238	9,405	9,715	順調	市民1人一日あたりの家庭ごみ量は集計中であるが、減少傾向である。 また、3R活動の実施率も高い水準を維持しているなど、環境意識の醸成及び地域コミュニティの活性化につながっていると考えられる。 以上を総合して、「順調」と判断。
							実績	462 g	452 g						
					市民アンケート調査における3R活動の実施率	86.9% (H28年度)	目標	86.9 %	86.9 %	86.9% (毎年度)	8,238	9,405	9,715	順調	
							実績	85.7 %	87.6 %						
							達成率	98.6 %	100.8 %						

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

No.	SDGs コード 番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由			
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度		R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)				
11	⑪ ボランティアネットワークの推進（河川愛護団体）	水環境課		地域の住民で構成する河川愛護団体に清掃道具購入の費用等となる補助金を交付することにより、美化活動を広げる。 また、美化活動に参加することにより、地域の河川を身近に感じ、自分たちの川として愛着を持つような啓発活動へつなげる。	河川愛護団体数	一	目標	73	団体	67	団体	67団体 (R5年度)	2,122	2,634	2,100	順調	概ね目標に近い団体数が活動しており、「順調」と判断。
							実績	61	団体	60	団体						
							達成率	83.6	%	89.6	%						
12	④ NPO・市民活動促進事業 ⑦ 市民活動推進課		市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修、啓発等を実施する。	サポートセンター利用者数	29,293人 (R1年度)	目標	20,000	人	20,000	人	20,000人 (毎年度)	16,939	17,434	16,524	順調	令和3年度以前に、緊急事態宣言の発令に伴う臨時休館等により、大きく減少したサポートセンターの利用者数は回復基調にあり、新規設立NPO法人数も概ね目標を達成した。以上のことから、「順調」と判断。 講座については、引き続きオンライン参加も可能なハイブリッド型として講座実施の維持に努めた。	
							実績	8,256	人	9,791	人						
							達成率	41.3	%	49.0	%						
				新規設立NPO法人数	17法人 (R1年度)	目標	15	法人	15	法人	15法人 (毎年度)	16,939	17,434	16,524	順調		
							実績	14	法人	11	法人						
							達成率	93.3	%	73.3	%						
13	④ NPO公益活動支援事業 市民活動推進課		市民活動の更なる促進を支援するため、NPO等が専門性を發揮して行う活動に対し、事業費の一部を補助する。	補助交付事業件数 (累計)	109件 (R1年度)	目標	130	件	140	件	150件 (R5年度)	2,389	2,694	2,300	順調	補助採択事業の事例紹介については、中間報告会を開催し事業周知に努めた。 また、補助交付事業件数は目標を概ね達成したため、「順調」と判断。	
							実績	131	件	137	件						
							達成率	100.8	%	97.9	%						
				成果発表会の参加人数 (累計)	431人 (R1年度)	目標	580	人	630	人	680人 (R5年度)	2,389	2,694	2,300	順調		
							実績	475	人	497	人						
							達成率	81.9	%	78.9	%						

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立															
No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事務所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度 中期目標	R4年度		R4年度 事業評価	評価の理由	
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	決算額 (千円)		予算額 (千円)	決算額 (千円)			
20	④ ⑯	ESD活動支援事業	環境学習課	<p>持続可能な社会の構築を図るために、国連など世界規模で進められている「持続可能な開発のための教育（ESD）」を、北九州ESD協議会を中心に、市民、企業、大学等と連携しながら推進する。</p> <p>具体的には、あらゆる人々が地域等における様々な課題に気付き、つながり、既に実践している活動等にESDの視点を加えて、暮らしや社会のあり方等を変えていく人づくり・学びあいの場づくりを進める。</p>	<p>アンケート調査における「持続可能な社会づくり」を意識している市民の割合</p>	一	目標	90.0 %	90.0 %	90.0% (R5年度)	19,174	20,179	19,619	順調	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、様々なイベントや会議が対面では実施できることもあったが、オンラインでの会議や講演会を積極的に行うなど、事業の円滑な実施に取り組み、「持続可能な社会づくり」を意識する市民の割合増加につなげたため、「順調」と判断。</p>
							実績	80.2 %	83.4 %						
							達成率	89.1 %	92.7 %						
21	④	長野緑地を利用した農業体験教室	公園管理課	<p>計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで有機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の整備、管理等に取り組む。また、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。</p>	<p>農業体験教室への参加者数</p>	一	目標	2,000 人	2,000 人	2,000人 (毎年度)	2,617	2,750	2,617	やや遅れ	<p>教室の開催数は、令和3年度同様目標を大きく上回っているが、依然として参加者数は目標の半数弱にとどまっているため、「やや遅れ」と判断。</p>
							実績	886 人	985 人						
							達成率	44.3 %	49.3 %						
22	② ③ ④ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯	市民環境力支援事業	環境学習課	<p>市民環境力の持続的発展を目指し、環境モデル都市を推進する活動への支援や、市民・NPO、事業者など地域社会を構成する各主体が、情報を共有し、新たな取組を生み出し、発信・啓発する北九州エコライフステージ事業などを実行する。</p>	<p>エコライフステージ 参加者数（単年度）</p>	142.4万 人 (H24年 度)	目標	150万人 以上	150万人 以上	150万人 以上 (R5年度)	12,606	12,207	11,690	順調	<p>3年ぶりの対面によるイベントやオンラインイベントを開催したことにより、市内の環境活動を広く情報発信することが出来た。令和4年度のエコライフステージの行事数と参加者数のどちらも、令和3年度の実績を上回ったため、「順調」と判断。</p>
							実績	30 万人	90.9 万人						
							達成率	20.0 %	60.6 %						

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

No.	SDGs コード 番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度		R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由	
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)				
29	③ ⑥ ⑪ ⑫	産業廃棄物処理推進事業 産業廃棄物対策課	産業廃棄物対策課	産業廃棄物の適正処理・3Rを推進するため、優れた排出事業者・処理業者への認定やインセンティブ付与・排出・処理動向や将来見通しの分析・公表、産業廃棄物3R・適正処理講習会等を活用した適正処理・3R情報の普及啓発を実施する。	優良産廃処理業者の認定件数（単年度） 優良排出事業者の認定件数（単年度）	4件 (H26年度) 2件 (H26年度)	目標 実績 達成率	2 件 150.0 %	2 件 5 件 250.0 %	2件 (R1年度以降毎年 度) 2件 (毎年度)	10,957	14,871	9,035	大変 順調	令和3年度から引き続き、会場及びYoutube配信による講習会を実施（受講者数565名）し、産業廃棄物の適正処理、3Rの推進について啓発を行った。また、優良事業者については6社を認定し、優良産廃処理業者及び排出事業者の育成に寄与したことから、「大変順調」と判断。	
							目標 実績 達成率	2 件 1 件 50.0 %	2 件 1 件 50.0 %							
30	③ ⑥ ⑪ ⑫	環境対策事業	環境監視課	環境法令に基づき、大気汚染や水質汚濁、騒音・振動の監視測定（環境モニタリング）などを行い、環境質の現状を把握し、維持・向上に努める。 また、市内企業を対象に、環境モニタリング結果等を共有し、環境保全を一層促進するため、環境モニタリングの結果や環境法令の概要、また不適正事業の防止策等に関するセミナーを実施する。	現状の環境を保全 企業の法令順守の徹底	— —	目標 実績 達成率	— — —	改善命令 0件	改善命令 0件	現状の環境を保全 改善命令 0件 (毎年度)	32,288	47,947	46,340	順調	大気、水質、騒音、振動についてモニタリング計画を立てて測定を実施し、現状の環境の保全につながっていると考えられるため、「順調」と判断。
							目標 実績 達成率	0 件 —	0 件 —							
31	② ③ ④ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯	環境施策広報事業	環境学習課	世界の環境首都を目指す北九州市の環境施策について、環境マスコットキャラクター「ていたん」を活用した広報・PRを継続して行い、市民の環境意識向上を図る。	アンケート調査における環境マスコットキャラクターの認知度	52.2% (H27年度)	目標 実績 達成率	65.0 % 66.5 %	65.0 % 67.7 %	65.0% (R5年度)	9,089	9,590	9,512	順調	令和3年度と比べ、イベント参加回数、アンケート調査における環境マスコットキャラクターの認知度が、ともに増加している。また、認知度について目標率を達成しており、施策に対して、一定の効果があったものと考えられるため、「順調」と判断。	
							目標 実績 達成率	102.3 % 104.2 %	104.2 %							

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立													
No.	SDGsゴール番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事務所管轄課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度 中期目標 決算額（千円）	R4年度 予算額（千円）	R4年度 事業評価	評価の理由
					指標名等	現状値（基準値）	R3年度	R4年度					
32	⑫ ⑪	環境国際協力推進事業	環境国際戦略課	途上国技術者を受け入れる国際研修や経験豊かな市内企業技術者等を諸外国都市に派遣し、現地で相手都市も主体的に関わった実践的な技術指導を実施する。 また、国内外の関係機関と協働・連携した調査、情報収集や発信を行うとともに、各種都市間ネットワークを活用したプロジェクトを実施する。更には、市内企業や国際機関等と密に連携して、協力対象国や都市の「緑の成長」にも資する環境国際協力をを目指す。	戦略的環境国際協力事業の件数（累計）	6件（H26年度）	目標	14 件	15 件	15件（R5年度）	0 3,000 1,566	順調	新型コロナウイルス感染症による出入国に係る水際対策の緩和により、現地派遣が再開し、オンライン協議と対面協議を活用して事業を進めた結果、「環境国際協力推進事業」の目標件数を達成したため、「順調」と判断。
							実績	14 件	15 件				
							達成率	100.0 %	100.0 %				
33	⑧ ⑨	国際会議等MICE事業の推進	MICE推進課	キーパーソン等へ本市の優位性（アクセス・施設・助成金）をPRするなどの誘致活動を展開することにより、本市での国際会議・大会等のMICE開催を目指す。	MICE開催件数	183件（H20年度）	目標	300 件	300 件	300件（R5年度）	97,849 156,520 129,524	順調	令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、目標には達しなかったものの、令和3年度と比較してMICEの開催件数は大きく伸びたため、「順調」と判断。
							実績	117 件	205 件				
							達成率	39.0 %	68.3 %				
34	⑩	アジア低炭素化センター推進事業	環境国際戦略課	アジア低炭素化センターを中心として、環境に関する多様な技術や社会システム等を海外に輸出することで、地域経済の活性化を推進する。	アジア地域でのCO2排出量を削減	—	目標	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	H25年度の本市CO2排出量75%削減（R12年度）	12,331 24,549 15,152	順調	アジア地域でのCO2排出量の削減に向けた各種プロジェクト推進数の累計が267件と、目標値の235件を上回っており、外部資金を活用しながらアジア地域の脱炭素に資する事業を積極的に展開していることから、「順調」と判断。
							実績	—	—				
							達成率	—	—				

政策目標1 市民環境力の更なる発展とすべての市民の支えられた「北九州環境ブランド」の確立

北九州市環境基本計画進捗評価(令和4年度実績)

政策目標4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上

No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		R4年度 事業 評価	評価の理由	
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)			
1	③ ⑪ ⑫	大気汚染常時監視システム整備保守事業	環境監視課	大気汚染防止法第22条の規定に基づく大気汚染状況の常時監視を行うため、公害監視センターと市内に設置した常時監視測定局から成る測定網の整備・保守を行う。常時監視結果を本市の環境保全の推進に役立てるとともに、大気環境の現状把握に努める。	大気環境の適正な把握	—	目標 — 実績 — 達成率 —	— — —	大気環境の適正な把握	16,978	13,474	13,473	順調	測定装置の更新計画に基づき、適切に測定環境を整備し、正確な測定を継続実施したため、「順調」と判断。	
2	③ ⑥ ⑪ ⑫	環境対策事業	環境監視課	環境法令に基づき、大気汚染や水質汚濁、騒音・振動の監視測定（環境モニタリング）などを行い、環境質の現状を把握し、維持・向上に努める。 また、市内企業を対象に、環境モニタリング結果等を共有し、環境保全を一層促進するため、環境モニタリングの結果や環境法令の概要、また不適正事業の防止策等に関するセミナーを実施する。	現状の環境を保全 企業の法令順守の徹底	—	目標 — 実績 — 達成率 —	目標 — 実績 — 達成率 —	現状の環境を保全 改善命令 0件	32,288	47,947	46,340	順調	大気、水質、騒音、振動についてモニタリング計画を立てて測定を実施し、現状の環境の保全につながっていると考えられるため、「順調」と判断。	
3	③ ⑥ ⑪ ⑫ ⑭	工場・事業場監視事業	環境監視課	市内の工場・事業場に対し、大気汚染防止法・水質汚濁防止法等に基づいて、立入検査及び排ガス・排水中の規制項目に関する測定を実施し、事業者の環境法令の遵守を監視するとともに、環境管理の取組の促進を図る。また、市民からの公害関係苦情・要望を受け、発生源に対する指導を行う。	公害に関する苦情・要望件数 (単年度)	243件 (H26年度)	目標 300件 以下	実績 218 件	300件 以下	300件 以下 (毎年度)	24,552	24,688	21,645	大変 順調	公害に関する苦情・要望件数は、目標より大幅に少ないこと、工場・事業場に対する立入検査や行政測定を計画的に実施していること、事業者向けのセミナー開催等により苦情の未然防止を着実に推進していること等から、「大変順調」と判断。

政策目標4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上

No.	SDGs コード 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度 決算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	R4年度 決算額 (千円)	評価の理由		
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	中期 目標						
4	⑦ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭	地球温暖化対策推進事業	グリーン成長推進課	令和3年8月に改定した「北九州市地球温暖化対策実行計画」に掲げた目標の着実な達成に向け、市民・事業者・行政がこれまで以上に計画的かつ効果的に取組を推進する必要があるため、各種調査及び啓発事業の強化等を行う。	温室効果ガス排出量の削減（万t）	温室効果ガス排出量 1,859万t (2013年度)	目標 実績 達成率	単年度目標設定なし — —	単年度目標設定なし — —	2030年度温室効果ガス排出量 2013年度比 47%減	9,851	7,846	4,038	順調	温室効果ガス排出量については、毎年減少傾向を維持している。 また、出前講演の参加者数（累計）が目標（5,250人）を達成するなど、市民に対し、年間を通じた啓発事業を実施した。 以上を総合して、「順調」と判断。
5	⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪	脱炭素社会の実現に向けた 「再エネ100%北九州モデル」 推進事業	再生可能エネルギー導入推進課	脱炭素社会の実現に向けて、 ・公共施設群及びエコタウンの再エネ100%電力化 ・EVを活用した自律型エネルギー実証 ・北九州都市圏域への再エネ普及促進 ・バイオマスエネルギー等活用推進 ・市有施設のZEB化に取り組む。	PV・風力等再エネ導入量（kW・累計）	0kW (R3年度)	目標 実績 達成率	512,980 kW 451,417 kW 88.0 %	756,946 kW (R12年度)	—	—	1,052,000	14,442	順調	国の交付金を活用した再エネ導入事業について、半導体不足などの影響もあり、令和5年度に完工することとなつたが、設備の導入は進んでいる。また、再エネの導入量は、目標の8割以上を達成したため、「順調」と判断。
6	⑪	橋梁・トンネル・モノレール等の長寿命化への計画的な取り組み	道路維持課	市内には、約2,000の橋梁と39本のトンネル、総延長約9kmのモノレールがあり、高齢化・老朽化が進行していることから、予防保全の観点での長寿命化事業に取り組んでいる。 事業の実施にあたっては、施設毎に個別施設計画を策定し、5年に1回の定期点検に基づく計画的な維持管理を実施することで、市民の安全・安心を確保するとともに、トータルコストの縮減や予算の平準化を図る。 ・「北九州市橋梁長寿命化修繕計画」 ・「北九州市トンネル長寿命化修繕計画」 ・「北九州モノレール長寿命化計画」	主要橋梁及びトンネルの健全性向上による市民の安全・安心の確保 インフラ構造物の長寿命化を実施による、モノレールの安全・安心な運行の確保	— —	目標 実績 達成率 目標 実績 達成率	— — — — — —	全主要橋梁及びトンネルの健全性II以上 (R9年度) 全インフラ構造物の健全性II以上 (R8年度)	4,233,721	1,965,000	2,496,412	順調	橋梁、トンネルのリニューアル及びモノレールの長寿命化に向けた取組は、概ね計画通りに進捗しており、「順調」と判断。	

政策目標4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上

政策目標4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上

No.	SDGs コード 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				R3年度 決算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	R4年度 決算額 (千円)	R4年度 事業 評価	評価の理由		
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	中期 目標						
II	③ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫	環境首都総合 交通戦略の推 進	都市 交通 政策 課	環境首都総合交通戦略は、本市での望ましい交通体系を構築するため、既存の公共交通機関を有効活用し、その維持や充実・強化を図る。過度なマイカー利用から地球環境にやさしい公共交通や徒歩・自転車への利用転換を図り、市民の多様な移動手段が確保された交通体系を構築することを目指す。	市内の公共交通人 口カバー率	基準値 80% (H17年 度)	目標 単年度目標設 定なし	実績 —	達成率 —	計画改 定 (R3年 度末)	73,827	213,423	131,099	順調	令和4年度は、各種イベントへの出店に加え、TNCのうどんMAPとコラボしたイベント「うどんMAP in 北九州市」を開催し、コラボ動画を制作するなど、公共交通利用促進のPR活動を実施することができた。 また、JR門司駅南口駅前広場のバス待機枠を増やすなど、結節機能強化も実施できたため、「順調」と判断。
					市内の公共交通分 担率	基準値 20% (H17年 度)	目標 単年度目標設 定なし	実績 —	達成率 —	計画改 定 (R3年 度末)					
					自家用車CO ₂ 排出量 の削減(H17年度比)	基準値 69.7万 t-CO ₂ (H17年 度)	目標 単年度目標設 定なし	実績 —	達成率 —	計画改 定 (R3年 度末)					
					市内の公共交通人 口カバー率	基準値 86% (R3年 度)	目標 単年度目標設 定なし	実績 —	達成率 —	86% (R8年 度)					
					人口10万人あたり の公共交通利用者 数	基準値 3.8万人 /10万人 (R1年 度)	目標 単年度目標設 定なし	実績 —	達成率 —	3.8万人 /10万人 (R8年 度)					
					公共交通に対する 満足度	基準値 66.1% (R2年 度)	目標 単年度目標設 定なし	実績 —	達成率 —	70% (R8年 度)					
					運輸部門CO ₂ 排出削 減率	基準値 172万 t-CO ₂ (H25年 度)	目標 単年度目標設 定なし	実績 —	達成率 —	104万t- CO ₂ (R12年 度)					

政策目標4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上

No.	SDGs フレ 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度 決算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	R4年度 決算額 (千円)	R4年度 事業 評価	評価の理由	
					指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	中期 目標						
12	③ ⑦ ⑧ ⑨ ⑪ ⑬	環境首都総合 交通戦略の推 進（おでかけ 交通）	都市 交通 政策 課	おでかけ交通事業は、公共交通空白地域の中で一定の需要がある地域において、地域住民の交通手段を確保するため、採算性の確保を前提として、地域住民、交通事業者、市の三者がそれぞれの役割分担のもとで連携して、ジャンボタクシー等を運行する。	既運行地区におけるおでかけ交通の維持	8ヶ所 (H25年 度)	目標 8ヶ所	8ヶ所	8ヶ所	10ヶ所 (R5年 度)	73,827	213,423	131,099	順調	三者（地域住民、交通事業者、市）で逐次調整・協議を行い、安定・安全運行の確保に努め、運行の維持ができたため、「順調」と判断。
13	⑩	広げよう食品 ロス・生ごみ 削減の環づくり 事業	循環 社会 推進 課	食品ロス削減の取組「残しま宣言」運動の普及・啓発や、生ごみリサイクル講座等の実施によって、生ごみの減量化・資源化を推進する。	市民1人一日あたりの家庭ごみ量	468g (R1年 度)	目標 单年度目標設定なし	单年度目標設定なし	440g以 下 (R7年 度)						
				市民アンケート調査における3R活動の実施率	86.9% (H28年 度)	目標 86.9% 実績 85.7% 達成率 98.6%	—	—	86.9% (毎年 度)	7,047	7,800	6,354	順調	食品ロス削減の取組「残しま宣言」運動を継続して実施し、食品ロス削減の取組実施率は、中期目標の概ね8割程度達成しており、市民の環境意識向上や、生ごみの資源化・減量化の促進に貢献していると考えられることから、「順調」と判断。	
				市民アンケート調査における食品ロス削減の取組実施率	58.3% (R1年 度)	目標 実績 達成率	—	61.6% —	80%以上 (R12年 度)						

政策目標4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上

政策目標4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上

政策目標4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上